

会派の主張

（本会議の
質問など）

三面から六面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

公 明 党

個人質問 松川 啓子

個人質問 松尾 武

高齢者が安心して暮らせる、地域ネットワークづくりの推進を！ 通学路の安全対策強化を！

―防災会議の定数増員に

係る女性委員登用―

問 防災会議で定数増員が図られるが、女性委員はどのようになるのか。今後、女性委員が増えれば会議等でより女性の声が反映される。考えを示せ。

危機管理監 委員定数の増員で薬剤師会や看護協会等に依頼することにより、さらに女性の視点に立った地域防災計画につなげていく。

―ポリオワクチン

予防接種について―

問 不活化ワクチン導入に

から誰でも相談窓口につながることに、早期発見

―ストレスチェックに

ついて―

問 気軽に行えるストレス

チェックシートを活用し、

インターネットや携帯電話

から誰でも相談窓口につな

係る予防接種の円滑な移行に向け、導入の九月以降どのようなスケジュールで実施するのか。考えを示せ。

健康部長 必要な接種回数と、近くの委託医療機関の案内を行い、九月の実施に向け円滑に移行できるように努めていく。

早期受診を促すきっかけにできないか。考えを示せ。

健康部長 ストレスチェックにより、市民自らが心の状態に気づき、必要であれば早期の相談や医療につながるということが重要である。これをウェブサイトに掲載し、さらに多くの市民に活用できるようにしていく。

―大腸がん検診について―

問 大切な命を守るため、

一人でも多くの人が受診でき、

繁忙で医療機関に行けない人が手軽に検診を受けられる検討を。考えを示せ。

健康部長 委託医療機関が多く、土曜日や夜間の受診に加え、風邪等の受診時に希望者はキットを受け取れ、

胃がん検診や特定健診等との同時受診が可能など等を強調し啓発していく。

―通学路の安全について―

問 通学路の点検の実施状況、

ルート変更の必要性、

通学路における車両スピードを抑制する対策、カラー舗装等運転手に注意を促す取り組み、愛ガード運動等の地域のボランティア活動、その連携はどうか。

教育監 より安全な通学路を検討し、通学路の変更等についても必要に応じて関係部局と連携し改善を進めている。また、子どもたちの安全は地域で守るという共通意識のもと、登下校の見守りも含め、通学路の安全確保に努めていく。

―「わたしのメモ」の活用・地域防災マップの作成について―

問 家庭で避難場所や緊急連絡先を記入できる「わたしのメモ」を活用すれば、

防災意識を高められる。また、震災や大雨を想定した地域防災マップを作成し、

自主防災意識や地域防災力の向上につなげてはどうか。

危機管理監 自助を高めるために「わたしのメモ」の意識づけを啓発し、自主防災組織の訓練の一つのメニューとして地域防災マップを活用した災害図上訓練の周知、啓発を行っていく。

―「エリアメール」

サービスについて―

問 災害時に緊急情報をさらに多くの市民に提供する

ため、他の携帯電話会社の同様のエリアメールサービスも活用してはどうか。

危機管理監 NTTドコモの利用者が対象のものに加え、au、ソフトバンクとの早期契約に取り組み。

―橋梁・下水道の長寿命化計画の策定について―

問 防災力を高めるためには、老朽化した社会資本整備の推進が必要。橋梁及び下水道の長寿命化計画策定の検討状況はどうか。

土木部長 重要な橋梁について、長寿命化修繕計画の策定を行いたい。



地域包括支援センターでは、介護予防ケアマネジメントや高齢者の総合相談・支援等を行っています

―小学校での暑さ対策、

熱中症対策について―

問 ドライミストが設置されるまでの期間、空調設備のある特別教室の活用等の対策はどのように行っているのか。

また、熱中症対策の指導の取り組みはどうか。

教育次長 既にエアコン設置済みの特別教室の活用及びルームシェアを行う。また、熱中症対策については、熱中症計を学校園に配備し、学校現場で活用する。

―地域包括支援

センターについて―

問 高齢者の日常の場で必要なサービスを提供するため、日常生活圏域である中学校区ごとの地域包括センターが必要である。今後、整備の取り組み状況はどうか。

福祉部長 第五期介護保険事業計画期間中に地域包括支援センターの担当地域と日常生活圏域が極力一致するように検討する。



通行車両からより早く確認できるように信号機の設置場所が移動され、歩行者用信号機が新たに設置された通学路のある交差点。今後も関係機関と連携し、通学路の安全対策の取り組みを推進していきます